

令和7年度 神奈川県立二宮高等学校第2回学校運営協議会 議事録

日時 令和7年11月6日(木) 16:00~17:00

会場 神奈川県立二宮高等学校(会議室)

司会 瀬戸 淳一 教頭

書記 竹内 仁美 学校管理G 教諭

参加者

杉崎	雅子	学識経験者	
松本	幸生	二宮町教育委員会教育部長	
猪俣	聡	学校長	
細田	高志	副校長	
瀬戸	淳一	教頭	
坂上	圭子	事務長	
中田	圭介	学校管理G	総括教諭
朝賀	千枝子	学習支援G	総括教諭
小山	健太郎	生徒支援G	総括教諭
田中	美沙	進路支援G	総括教諭
坂元	孝子	生活指導G	総括教諭
飯川	裕太	インクルーシブ教育実践推進G	グループリーダー
竹内	仁美	学校管理G	教諭

次 第

- 1 会長挨拶
- 2 校長挨拶
- 3 議事
 - (1) 各グループより報告
 - ・学校管理G
 - ・学習支援G
 - ・生徒支援G
 - ・進路支援G
 - ・生活指導G
 - ・インクルーシブ教育実践推進G
 - (2) 不祥事ゼロプログラム中間報告について
 - (3) 学校運営協議会学校関係者評価と有識者による評価について
- 4 今後の予定について

以下、議事録

- 1 会長挨拶
- 2 校長挨拶
- 3 議事

(1) 各グループより報告

学校管理G

- ・防災関係
11/5にも、二宮町での防災無線訓練あり
- ・PTAによる自転車点検の実施
11/5実施
- ・会計事務
新たに様式を作成し直し、会計担当者全員が正しく速やかに会計処理を行えるような環境を整える

(松本様より)

- ・今週末の町の防災訓練について
葛川の氾濫
スマートフォンで見られるハザードマップも活用できる
- ・体育館のエアコンの設置について、現状を教えてください
小学校中学校でも設置してほしい
→(教頭より) 県と折衝をすすめているところ
避難所として使用する可能性もあるため、
電源が来なくてもエアコンを稼働できるように
計画している

(杉崎様より)

- ・夏休み中の津波警報があったときの対応はどうか
非常時の帰宅方法について、いかに考えられていないか
実感した
→(教頭より) 避難対象ではなかった。
校内で活動している生徒の所在確認
保護者の迎えがあれば帰宅させた
17時過ぎには全生徒を帰宅させることができた

学習支援G

- ・試験時、通常時にかかわらず教室に入りづらい生徒が増えている。→教員にも負担がかかりすぎない対策を考えていく
- ・授業改善プログラムの実施について
近隣の小学校、中学校にも案内を出しており、

今年度は何名かの方が来てくださった

- ・電子黒板やcanvaの活用
- ・5分ルールなど、生徒が集中できるルール作りなどの実施

(杉崎様より)

- ・試験時入室できない生徒の理由はなにか。

→ (朝賀先生より)

体調不良が多いが、何が原因かわからないことも多々ある

生徒支援G

○生徒会・行事・部活動・学校説明会

- ・地域との連携

「ガラスのうさぎ平和と友情のつどい」に

毎年生徒が参加している。平和を願う折り鶴を作り、

そこから学んだことをもとに総合型選抜にチャレンジした

生徒が2名

- ・部活動

各部活動、年度途中からの入部もあり。

相模人形部も3名新入部員が入った。

- ・生徒会

7年ぶりの信任でない生徒会選挙の実施

生徒の自己実現を支える

(杉崎様より)

- ・生徒会に関わる生徒の状況はどうか。

→ (小山先生より)

コロナ禍を経て、状況は変わって来ている。

全体を通じて、良くなってきているのではないか。

進路支援G

- ・現段階4割程度は決定している

- ・連携生徒も、一般雇用を目指している生徒が多く、苦戦している状況

- ・1学年上級学校訪問 生徒に希望をとり、実施予定

- ・総合的な探究の時間の工夫

例) 1学年金融説明会

- ・指定校推薦の面接指導

学校全体で行っている

(杉崎様より)

- ・高校卒業を目指すのに精一杯な生徒への、卒業後の進路のサポートはどうしているか。

→ (田中先生)

卒業後も支援できるようサポート体制を作っている

生活指導G

- ・「生徒が安心して暮らせるように」の指導
- ・特別指導
- ・各試験時頭髪・服装指導
- ・校内巡回強化
- ・登下校指導（交通ルールのマナーなど）
- ・交通安全指導
- ・SSW, SC
- ・サポートドックの実施
- ・人権教育校内研修会（教員向け） 子供の人権について

(松本様より)

- ・以前に比べ交通ルールは守っているように見受けられる

(杉崎様より)

- ・試験中の頭髪指導、直す指導はどうしているか。

→ (坂元先生より)

試験を区切りに学年の指導部から指導をし、期限を定めて頭髪を直させる

- ・SC, SSWの活用はどうしているか。

→ (坂元先生より)

教育相談コーディネーターが計画し連携している

インクルーシブ教育実践推進G

- ・中学生対象インクルーシブ説明会
平日に実施の場合は、前半は説明、後半は授業見学
今年度より中学校教員対象の説明会も実施予定
- ・個別教育計画の作成
本人・保護者ともに納得の上で作成
- ・連携生徒以外にも自分や他の人を大事にすることが苦手な生徒が多い→研修をできるだけ設けたい
- ・TTの実施→検証中
- ・連携生徒の進路専任
- ・保護者向けインクルーシブ進路説明会

(杉崎様より)

- ・インクルーシブ教育で深まってきている点はあるか。

→ (飯川先生より)

教員のインクルーシブ教育への理解が深まっている

(個別指導計画や生徒との関わり)

連携生徒に限らず、生徒同士の関わりに課題がある

(2) 不祥事ゼロプログラム中間報告について (副校長より)

・朝の打ち合わせや職員会議の機会に実際の事例を交えて
日常的に意識させるようにしている

・職員にメールや携帯電話の適切な使用・申請を徹底している

・入学者選抜・定期試験に関わる事故防止

マニュアルや点検体制を整備している

(杉崎様より)

・小中学校で、スマホを持ち込んではいけないという決まりが
ある場所もあるが、二宮高校はどうか

→ (副校長より)

端末の持ち込みは禁止していない

生徒の情報をスマホ等に入れないように周知している

(3) 学校運営協議会学校関係者評価と有識者による評価について

4 今後の予定

第3回：3月

以上